

3類型	農林水産物	通巻番号	4-26-010
地域資源名	豚・大葉	認定日	平成26年10月15日
地域	豊橋市・豊川市・田原市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：豚、大葉を使ったハム・ソーセージ類の製造・販売事業

会社名：和広産業株式会社

所在地：愛知県豊橋市西幸町字笠松35番地の4

連絡先：TEL：0532-25-8450

FAX：0532-25-8451

HP：<http://www.wako-hamu.co.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

・同社は、昭和61年、豚の精肉卸や加工を行う事業者として創業、数年後、顧客ニーズや独自性強化のため、ハムやソーセージなど加工品の製造販売事業に着手し、現在の食肉総合商社としての基盤を整えている。

・加工品の製造事業の特徴は、事業立ち上げ当初、豚肉加工の本場ドイツのマイスターから、製法に関する技術承継を受けて以来約30年、本場仕込みの製法に磨きをかけながら、オーダーメイド製品の加工・販売を行ってきた点である。具体的には、着色料や増量剤は使用せず、化学調味料などの食品添加物は必要最低限に抑えており、香辛料も欧州から輸入したものだけを使用し、安心・安全は言うまでもなく、本場の香りや味わいと豊橋・田原産の豚の魅力を最大限に引き出す製品づくりを進めている。

・農家の顔は当然のことながら、それぞれの農家のこだわりや特徴を把握し、豚肉に現れる特徴を最大限に引き出す香辛料選びや製法によって、同社の加工品事業が行われている。また、地域特産の青じそ(大葉)を2度、加工段階で注入し、青じその歯触りが残るソーセージも製造している。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・本事業製品は、地域でこだわった養豚農家の厳選された豚肉を100%使用し、そのラインナップに特産の青じそ(大葉)を活用している点において、安全・安心を求める消費者に対して競争力を有している。

◆市場性

・トレーサビリティが明確な地元産豚100%のハム・ソーセージ類(ベーコン含む)を小ロットで製造できることから全国の飲食店等への市場性が期待できる。

◆販路

・展示会などを通じ、スーパーや飲食店などへの卸販売のほか、自社製品としてインターネット通販でのギフト市場への販路拡大を計画。

地域における関係事業者との連携

・地域の養豚業者と密接に連携している。

